近畿地方交通審議会
近畿船員部会議事録

第 159 回

令和３年１２月２０日

日　時　　令和３年１２月２０日（月）　１６時００分から

場　所　　近畿運輸局　会議室（船員部会室）

出席者　　公 益 委 員　藤本委員、横見委員、定岡委員

労働者委員　松林委員、井上委員

使用者委員　礒合委員、四宮委員

運　輸　局　田畑海事振興部長、大谷海事振興部次長、
竹内船員労政課長、仲船員労政課専門官、
藤木船員労働環境・海技資格課長

議題１．船員の特定最低賃金の改正に関する答申について

議題２．管内の雇用等の状況について

議題３．その他

議　事　概　要

藤本部会長：

それでは、ただ今から第１５９回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第１５８回船員部会」の議事録につきまして、ご承認願いたいと思います。ご異議ございませんか。

（異議なし）

藤本部会長：

無いようですので、ご承認をいただいたものといたします。

次に議題１の「船員の特定最低賃金の改正に関する答申について」に入ります。

本議題に関しては、「近畿内航鋼船運航業及び木船運航業」、「近畿海上旅客運送業」および「近畿漁業（沖合底びき網）」の３業種について最低賃金専門部会を設置し、調査・審議をしていただきましたが、その結果について各専門部会からご報告いただいた上で、審議をすることとしたいと思います。

まず、「近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会」の部会長を務めました私からご報告いたします。

近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会における調査審議の結果について、ご報告します。

近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金専門部会は、１１月２４日及び１２月７日の２回にわたり部会を開催しました。

その結果、近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金の改正については、職員は１，２００円アップとし、現在の、職員２５１，４５０円を２５２，

６５０円に、ただし書きの職員２３５，０００円を２３６，２００円に、はしけ長２５１，４５０円を２５２，６５０円に、部員は１，３００円アップとし、部員１９２，６００円を１９３，９００円に、ただし書きの部員１８３，３００円を１８４，６００円にそれぞれ改正することが適当である。」との結論に至りました。

以上、報告いたします。

藤本部会長：

次に、「近畿海上旅客運送業最低賃金専門部会」ですが、こちらについても私が部会長を務めましたので報告いたします。

近畿海上旅客運送業最低賃金専門部会における調査審議の結果について、ご報告します。

近畿海上旅客運送業最低賃金専門部会は、１１月２４日及び１２月１０日の２回にわたり部会を開催しました。

その結果、近畿海上旅客運送業最低賃金の改正について、職員は５５０円アップとし、現在の、職員２４６，６５０円を２４７，２００円に、部員は６５０円アップとし、１８５，２００円を１８５，８５０円にそれぞれ改正することが適当である」との結論に至りました。

以上、報告いたします。

藤本部会長：

次に、「近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金専門部会」の部会長を務められました横見委員からご報告をお願いいたします。

横見委員：

近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金専門部会における調査審議の結果について、ご報告します。

近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金専門部会は、１０月２２日に部会を開催しました。

その結果、近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金の改正については、４００円アップとし、１９９，６００円を２００，０００円に改正することが適当である。との結論に至りました。

以上、報告いたします。

ありがとうございました。

ただ今の各専門部会長の報告及び資料１の改正案につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

井上委員：

最低賃金の結果について今回も一定の改善となったことは、船員不足の昨今において非常にいいことだと思います。引き続き、来年以降も最低賃金の改定を含めて諮問されるようお願いしたい。

また、各専門部会の委員選任については、引き続き各段のご配慮をお願いしたい。

意見として伺います。他に質問等ございますでしょうか。

特に無いようですので、「船員に関する特定最低賃金近畿内航鋼船運航業及び木船運航業最低賃金、近畿海上旅客運送業最低賃金、近畿漁業（沖合底びき網）最低賃金）の改正について」は資料１の改正案１～３のとおり船員部会の結論としてよろしいでしょうか。

（異議なし）

ありがとうございました。

それでは、この改正案のとおり決定することとし、近畿地方交通審議会会長にご報告したいと存じます。

それでは事務局よりお願いいたします。

・海事振興部長挨拶

〔　田畑海事振興部長（挨拶）　〕

・最低賃金改正の今後のスケジュールについて

〔　大谷海事振興部次長　（説明）　〕

次に議題２の「管内の雇用等の状況」につきまして、運輸局から説明をお願いします。

竹内船員労政課長：

それでは「令和３年１１月分管内雇用状況」について、ご説明させていただきます。

１．職業紹介状況

①求人関係

新規求人数は、６１人（前月比＋８人、１５．１％の増、前年同月比：＋１６人、３５．６％の増）となっています。

月間有効求人数は、１６９人（前月比－３人、１．７％の減、前年同月比：＋１５人、９．７％の増）となっています。

②求職関係

新規求職者数は、１３人（前月比＋６人、８５．７％の増、前年同月比：－６人、３１．６％の減）となっています。

月間有効求職者数は、４０人（前月比±０人、増減無、前年同月比－１０人、２０．０％の減）となっています。

③成立状況

当月の成立数は、８人（前月比：＋７人、７００．０％の増、前年同月比：－４人、３３．３％の減）となっています。

④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員４人、機関部職員２人、機関部部員１人、司厨員１人となっています。

年齢別については、１０歳代０人、２０歳代０人、３０歳代０人、４０歳代４人、５０歳代３人、６０歳代１人、７０歳代０人となっています。

２．新規求人・求職者の取扱実績

①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員４０人（甲板部１７人、機関部２３人、無線部０人、事務部０人）、部員２１人（甲板部１２人、機関部４人、無線部０人、事務部５人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員８人（甲板部５人、機関部３人、無線部０人、事務部０人）、部員５人（甲板部４人、機関部１人、無線部０人、事務部０人）となっています。

②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合２人、定年退職が０人、雇用期間満了０人、本人の申し出６人、自己の健康０人、倒産０人、就労中４人、不明１人となっています。

③新規求職者の年齢別

３０歳未満４人、３０歳代４人、４０歳代０人、５０歳代３人、６０歳以上２人となっています。５０歳以上は５人で占める割合は３８．４％、３０歳未満は４人で占める割合は３０．８％です。

３．失業等給付金支給状

受給資格者数は１６人で、基本手当の支払実人数は６人、給付件数は６件となっています。給付金額は１，０９３，２３２円です。前月は７人、７件の１，１１７，１５３円でした。

それから、高年齢求職者給付金が０件０円、再就職手当が１件４００，２４８円、就業促進定着手当が０件０円よって、当月支給額計は、１，４９３，４８０円となります。

４．月間有効求人倍率の推移

１１月の近畿船員は４．２３倍で、前月比－０．０７ポイント、前年同月比、＋１．１５ポイントとなっています。

５．近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は１６９人で、このうち、新規求人者数は６１人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は３人、他局成立は２名でございました。

求人の取り消しは５６人で、理由の内訳は有効期限切れ４５人、自己応募・縁故により採用１人、会社都合により取り下げ１０人、その他は０人となっています。

②月間有効求職者は４０人で、前月との差は±０人でした。

当局の紹介による求職側の成立は０人、他局成立は３人でした。

求職の取り消しは１１人で、理由の内訳は期限切れ９人、自己応募・縁故により採用１人、自己都合により取り下げ１人、その他０人となっています。

６．全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①１０月の全国の月間有効求人数は、２，８８５人で、前月比１０３．１％、前年同月比は１１１．９％となり、３０６人増加しています。

②１０月の全国の月間有効求職数は、８５７人で、前月比９７．１％、前年同月比８１．５％となり、１９４人減少しています。

③１０月の全国の成立数は、７０人で、前月比８３．３％、前年同月比では７８．７％となり、１９人減少しています。

④１０月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により３．３４倍となっています。１０月の全国陸上は季節調整値により１．１５倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

藤本部会長：

ご説明ありがとうございます。

資料２，３，４について何かご質問等ございますでしょうか。

松林委員：

近畿運輸局管内の雇用情勢に漁船の欄がありますが、やはり近畿管内では、漁船の求人、求職共にかなり少数です。システム上、求人する会社と求職者の条件がマッチングすることが紹介に至る条件であると思うのですが、和歌山や京都では漁船の船社も大阪と比較すると多く、実際に人を雇いたい会社は多いと思います。

近畿管内の本局・支局・海事事務所の間で、漁船への就職を希望する求職者が求職登録したなどの情報を共有し、漁船の会社へも情報提供を行うなどの対応ができたらいいんじゃないかと思うのですが、いかがでしょうか。

竹内船員労政課長：

求人、求職情報については、以前にも説明させていただきましたが、オンラインシステムになっており、求職者が全国の求人情報を見ることができます。

例えば、当局で漁業での求職希望された方は、当局管内の京都運輸支局、勝浦海事事務所を含めた全国の求人情報を見ることができます。

現在、当局管内での漁業の求人情報は少ない状況ですが、全国の漁船の求人情報を見て頂き、求職者が希望する求人情報を紹介することは可能となっています。

松林委員：

求人情報ネットワークの中で求人情報を閲覧することが可能であることは承知していますが、逆に求職者の情報は見ることはできるのですか。

竹内船員労政課長：

求人票を提出して頂いている船会社においても、同様に全国の求職者の情報を見ることができます。

田畑海事振興部長：

システム上の流れ。

実際システムを見ていただくと非常によく分かると思いますけれども、条件を自分で入れたら全部リストが出てきます。

松林委員：
積極的にアプローチはしないけれども、広く垣根がないシステムとなっているということですか。

竹内船員労政課長：
そうですね。最近陸上で働いていたけれども、船に乗りたいと来局される方もいるので、積極的に職業紹介を行っています。

松林委員：
そうですか。

田畑海事振興部長：
那智勝浦の話が出ましたけれども、那智勝浦は生マグロの基地ではあるんですけれども、そこに船員さんがいるかと、那智勝浦町にというと、そうではないんです。

松林委員：
船員も漁船も少ないですね。

田畑海事振興部長：
那智勝浦町に出入りしている船員さんは本当に他県、漁船の船籍は九州であったりとか沖縄であったりとか、そういうところのほうが多いですので。

松林委員：
那智勝浦を基地に生マグロを捕っている船主さん達の話を聞くと、後継者の確保や船員の補充ができず、自分の代で廃業せざるを得ない状況だという

声がかなり多いので、管内のネットワークを通じてうまく漁船船員の確保につながるようしていただきたい。
　そういったところも何かネットワークを通じてうまくできるようになればいいなという意見です。

竹内船員労政課長：
　分かりました。引き続き、漁船を希望する求職者に対して適切に対応していきます。

藤本部会長：
　次に議題３の「その他」に入ります。
　運輸局の方から説明をお願いします。

大谷海事振興部次長：
　資料５を説明申し上げます。
　まず、１０月分の概要ですが、前月に続いて、半導体や自動車部品の不足による自動車生産の一時停止から自動車の輸送は大きく減少が見られています。
　３ページ以降は貨物ごとの状況です。１０月の欄と対前月の欄をご覧下さい。
　鉄鋼ですが、前年同月比で１１９．３％、前月比では１０９．０％
　原料は、前年同月比で１０２．０％、前月比では１０３．８％
　燃料は、前年同月比で１１０．９％、前月比では９３．６％
　紙・パルプは、前年同月比で９３．２％、前月比では１０３．８％
　雑貨は、前年同月比で９７．３％、前月比では９３．２％
　自動車は、前年同月比で６７．７％、前月比では１１０．０％
　セメントは、前年同月比で９９．２％、前月比では１１２．２％
　貨物船全体の輸送量は、１，７５４万２千トンで
　前年同月比で９６．２％、前月比では１０４．６％となっています。
　次のページをご覧ください。タンカーの状況です。

黒油は、前年同月比で１０６．７％、前月比では１１４．２％
白油は、前年同月比で１００．９％、前月比では１０８．６％
ケミカルは、前年同月比で１２３．０％、前月比では９８．０％
一般タンカーの輸送量は、８１６万１千トンで前年同月比で１０４．３％、前月比では１０９．０％となっています。
続きまして、
高圧液化は、前年同月比で１１８．０％、前月比では１０５．０％
高温液体は、前年同月比で１２２．０％、前月比では１２０．８％
耐腐食は、前年同月比で１２０．９％、前月比では１０７．６％
特タン船の輸送量は、１１８万トンで前年同月比で１１９．６％、前月比では１０７．５％となっており、全てのタンカーの合計は、９３４万１千トンで前年同月比で１０６．０％、前月比では１０８．８％となっています。
次に資料６、長距離フェリーの令和３年１０月の輸送実績でございます。
１０月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。
まずトラックですが、
北海道は、１５，４４９台で、前月比９７．３％、前年同月比で１０３．９％
北九州は、３２，８１０台で、前月比１０８．４％、前年同月比で１０２．９％
中九州は、９，６８７台で、前月比１００．２％、前年同月比で９８．０％
南九州は、１０，６８２台で、前月比１１８．５％、前年同月比で１０８．２％となっています。
次のページ、旅客でございます。
北海道は、１０，３９３人で、前月比１０４．８％、前年同月比で９７．２％
北九州は、４３，９５５人で、前月比１４２．８％、前年同月比で１００．８％
中九州は、１６，９０７人で、前月比１３３．９％、前年同月比で９３．９％
南九州は、１５，３９３人で、前月比１４６．８％、 前年同月比で１００．０％となっています。
次のページ、乗用車でございます。
北海道は、３，２７９台で、前月比１１３．６％、前年同月比で８１．２％

北九州は、１７，２９２台で、前月比１２４．３％、前年同月比で９１．０％
中九州は、３，１４８台で、前月比１３６．８％、前年同月比で８８．４％
南九州は、５，４８４台で、前月比１４１．３％、前年同月比で９０．４％
となっています。
私からの説明は以上でございます。

藤本部会長：
ありがとうございました。
それでは、資料５、６について何かご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

松林委員：
先日、名門大洋フェリーの新造船が就航したことによって、いわゆる新船効果が少なからず期待されているのじゃないかと思うんですけれども、運輸局はどのように想定されているのかお聞きしたい。

大谷海事振興部次長：
この年末年始というのは去年よりは旅客輸送量は増えると思われます。もちろん新船効果もあると思います。

田畑海事振興部長：
ただ、旅客定員を見れば、新船のほうが落としているんですよね。いわゆる昔の２等であったような雑魚寝タイプの形はやめて、コロナ対策ということも含めて個室化をどんどん進めるということで、定員は減っているけれども、船旅としての質は上がります。瀬戸内海航路のフェリーというのは、特にショートクルーズというような意味合いを持って旅客への働きかけをやっていますので、今後増えていくと思います。
皆さん、やはりＧｏＴｏトラベルの早い再開を期待されています。ただ、今、はっきりしたことがまだ言われていませんので、いつ頃というのをなか

なか言えないところなんですけれども、起爆剤としてＧｏＴｏトラベルの再開は期待できます。

それと、貨物ベースに関しては、船型が大きくなっています。瀬戸内海航路での最大船型になっており、大体1.5倍になります。現在でも平日はもういっぱいいっぱいなんですね。貨物がもう積めないような状況になるところもありますので、そのあたりがますますモーダルシフトの転換も含めてどんどん伸びていくと思います。

松林委員：

了解しました。

藤本部会長：

そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

田畑海事振興部長：

資料をつけていませんけれども、ちょっと私のほうから追加の情報です。

以前、内航海運のカーボンニュートラルの中間取りまとめをご案内させていただきました。今月の14日に国交省におきまして、第５回目の検討会をやっています。そこで最終取りまとめに向かった調整をやっているようですので、近々のうちには最終取りまとめが公表されるだろうというふうに思います。

ここは私の私見ですけれども、最初の中間取りまとめを読んだときに一番気になっているのは、カーボンニュートラルポートとの関係、要はインフラ整備等の話がどこまで盛り込まれるのかなというところを注視しています。

以上です。

藤本部会長：

ご紹介ありがとうございます。

次の回ぐらいにできますか。

田畑海事振興部長：

早ければ年内、それか年明け早々ぐらいには公表されるのではないかなと思います。

藤本部会長：

またご紹介いただければと思います。

それでは次に、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題につきまして、ご意見や情報等ございましたらご発言をお願いしたいと思います。

労働者委員側から。

松林委員：

11月29日に、近畿運輸局と海事広報協会で主催されている「海の教室」に参加させていただき、ありがとうございました。

今後、同じようなイベントを企画しようかと思っており、その際はご協力いただけると助かりますので、その際はよろしくお願いします。

四宮委員：

先月の船員部会でもお話しさせて頂きました学校訪問の件ですが、弊社船員担当者が先週17日に高知海洋高校に行ってきました。担当者の報告によりますと、今回は内タンの事務局から１名、船会社５社（５名）の合計６名で参加させてもらっています。今回、生徒さんも36名参加していただいたと聞いております。

また、内容は、最初はＤＶＤを見ていただいて説明し、その後は３班に分かれて質疑応答の場を設けたと聞いております。また、学校側も結構大勢の先生方が参加していただいたみたいなので、コロナが落ち着けば、またどんどん学校訪問にも参加させたいと思っております。

今回、礒合委員も行かれました。

礒合委員：

今話された通りで、海洋高校の先生方に、今の時期、12月に出前授業として、毎年開催してほしいことを要望されました。船会社の現場の生の声をグループトーキング形式で行うことで、生徒さんと直接話をすることになり、船に興味を持っていただけたかなと思います。

藤本部会長：

ぜひ積極的に現場の状況を若い人たちにお伝えいただいて、採用につながるようにしていただければ。

礒合委員：

学校訪問は、内タン主催でタンカー業界として行っていますが、生徒さんには、内航海運に取りあえず来て、船の乗組員になってほしいことを話しています。海洋高校なので船乗りに近い学校として話しております。
タンカーという船種を飛び越えて、とにかく一遍、船乗りになってくださいという感じで話はいつもしております。

藤本部会長：

ありがとうございます。

公益委員のほうはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は１月２４日（月）１６時００分からとなっておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

（配付資料）

資料１．船員の特定最低賃金の改正に関する答申について

資料２．令和３年１１月分　近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料３．令和３年１１月分　月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料４．令和３年１０月分　局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料５．内航輸送実績状況（令和３年１０月分まで）

資料６．長距離フェリー輸送実績の推移（令和３年１０月まで）